

# 代塚山スキー

斎藤 憲一

- 山行年月日:2021年3月8日
- メンバー:斎藤憲一
- コースタイム:自宅 8:20～藤巻 9:00～尾根基部 9:30～代塚山頂 12:00～13:00～尾根基部 13:40～藤巻 14:00

本来は今週末に計画していたのだが、週間天気では雨の予報である事から、予定していたパートナーには申し訳ないとの断りを入れて、一人で出掛けることとした。リタイア後の自由な身ならではの天気模様に合わせた平日山行である。

前回2月の偵察の際に登った中間尾根ではなく、今回は偵察時に先行していたトレースのあった尾根に取り付く。この尾根、出だしはそれなりに急傾斜であり、前回よりも積雪量が減ってきていることから、立木を避けながらキックターンを繰り返して尾根に乗ると、一部雪が無くなっていて5分ほどスキーを外してつぼ足となる。この辺りはまだ細い尾根のうえに立木が混んでいるが、それでもしばらく進んで行くと、尾根が広くなるCo800辺りからはブナの大木も現れ始めて、傾斜も手頃になっ

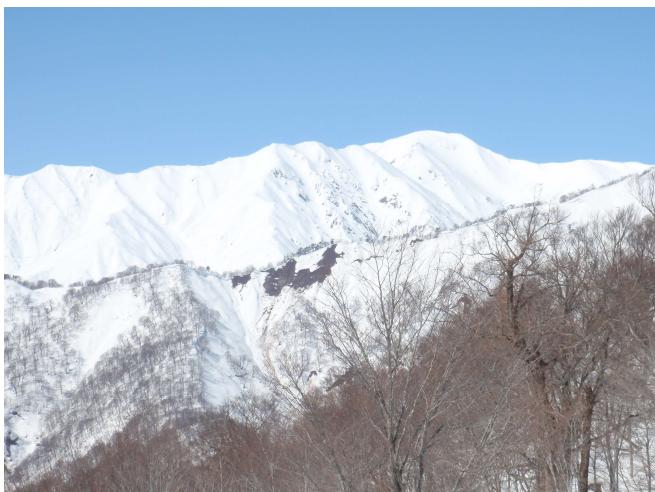
てくる。更にP919の右からの尾根が合流する頃からは、滑降が楽しみな斜面が続くようになってくる。

気持ちの良い斜面をゆっくり登って行き、山頂手前のジャンクションに乗ると、大日から牛首周辺の真っ白な山容や、かつて登った三部作の魅力的な尾根などが眩しく輝くのが望める。懐かしいような気持ちになりながら広大な山容を堪能して目の前の山頂を踏み、少し北側に移動すると、三国から疣岩周辺の稜線が手に取るように望むことができるため、無風快晴の中ここで絶景を眺めながらのお昼を楽しむこととする。カップラーメンとおにぎりだけの昼食なのだが、たった一人の何とも贅沢な時間である。



三国岳～剣ヶ峰～地蔵山

のんびりした後はいよいよ楽しみの滑降だ。雪面はしっかりと締まり、ブナの疎林が広がる緩やかな斜面は、自由にシュプールを描くのには最高である。ということで、あっという間に Co950 辺りの尾根の分岐付近となる。登ってきた尾根を忠実に下って行くが、まともに滑れるのも Co750 辺りまでで、この辺りからは藪はうるさくなってくるし、雪も切れたりしていることから、ここからは雪の繋がっている尾根の東斜面をトラバー



大日岳～牛首三部作を望む

ス気味に沢に向けて下って行くが、急傾斜でやはり藪が邪魔になるため、キックターンを繰り返す。苦労しながら下って沢が近づくと、目の前には5m程の滝が見えるため、更に下流へ向けてトラバースして滑って行き、登りに取り付いた尾根末端よりも300m程下流の沢付近に降り立った。



快晴の三国岳をバックにランチタイム